



当行は、環境省認定
「エコ・ファースト企業」です。

「環境金融」で低炭素社会へ



当行は、気候変動キャンペーン
「Fun to Share」に賛同しています。



ミニディスクロージャー誌
平成26年4月1日～平成27年3月31日

なるほど しがぎん



滋賀銀行

For the Future with You

～お客さまと地域の持続可能な成長のために～



発行／平成27年6月

編集／滋賀銀行 総合企画部 広報室 電話／077(521)2202

<http://www.shigagin.com>

SHIGA BANK

ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。



当行は、「お客さま・地域とともに未来へ歩む銀行」を基本ビジョンとする第5次長期経営計画（平成25年4月～平成28年3月）を展開しております。お陰をもちまして、第5次長期経営計画に掲げる地域貢献目標（平成28年3月末）において、預金合計4兆3000億円、総貸出金3兆円の目標をそれぞれ1年前倒しで達成いたしました。これもひとえに皆さまのご愛顧とご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

さて、日本経済はデフレ心理から脱却し、経済の好循環への明るい道筋が見え始めています。平成27年度はこの好機を逸することなく、日本経済の復活に全力を尽くす年であり、まさに政府が推進める「地方創生」と平仄を合わせた官民上げての取り組みが重要です。

「地方創生」に向けた取り組みが全国各地で本格化していますが、当行は「地方創生」の提唱を待つまでもなく、「地域・お取引先の成長なくして当行の成長なし」の信念のもと、地域の活性化と振興に努めてまいりました。

地域への円滑な資金供給と、不断の創意工夫で「地方創生」の流れを加速する「エンジン」の役割を果たすことこそが、私たち地域金融機関の使命であると再認識し、「しがぎんグループ」全従業員の総力を結集して、地域経済の発展と持続可能な社会の実現に全力で取り組んでまいります。

平成27年6月

取締役頭取

大道良夫

行是
自分にきびしく
人には親切
社会につくす

CSR憲章 [経営理念]

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR（企業の社会的責任）の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

地域社会との 共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

役職員との 共存共栄

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

地球環境との 共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

滋賀銀行データ

名称	株式会社 滋賀銀行 THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設立	昭和8年10月1日
総資産	4兆9,746億円
預金残高	4兆3,883億円 (譲渡性預金含む)
貸出金残高	3兆605億円
資本金	330億円
従業員	2,228人
店舗数	137カ店(うち代理店14カ店) (平成27年3月31日現在)

CONTENTS

● ごあいさつ	1
● しがぎんTOPICS①②	3~4
● 個人のお客さま	5~6
● 法人のお客さま	7~8
● アジアネットワーク	9~10
● CSRの取り組み	11~12
● 財務データ	13~20
● 地域密着型金融の取り組み	21
● しがぎんTOPICS③	22

しがぎん トピックス TOPICS ①

滋賀の魅力を掘り起こせ!!

当行は地域の魅力を引き出す「地域おこし」に、地元
の皆さんとともに積極的に取り組んでいます。



■ 復活!観音寺城 ~信長も手本にした六角氏栄光の城~

観音寺城跡の石垣整備を行う市民グループ「豊かな杜
づくり隊」に参画し、竹やぶに覆われていた観音寺城跡を
地域資源としてよみがえらせました。平成26年11月には、
2回にわたり、御屋形(天守閣)跡の整備に当行役員
延べ75名が参加。平成27年3月には、城跡近くの遊歩
道「景清道」の散策にも参加し「地域とともに成長してほし
い」と願いながら、桜の苗木を植樹しました。

観音寺城

近江八幡市安土町に位置する観音寺城は、日本100名城のひとつで、
1,000を超える曲輪とおびただしい数の石垣が残るお城です。信長はこ
の城を手本に安土城を築城したといわれています。

■ 全国から注文殺到!究極のお土産!

~酒粕チーズケーキを地域ブランドに~

知的障がいを持つ入所者の自立を目指し、社会福祉
法人あゆみ福祉会様が開発した「湖のくに生チーズ
ケーキ」は、観光庁主催の「世界に通用する究極のお土産」
9品に選ばれ、注文が殺到。当行が提案した地域経済
循環創造事業交付金で生産販売施設を新設され、今では滋賀の地酒を
生かした東近江市発の地域ブランド
に育っています。



しがぎん トピックス TOPICS ②

滋賀銀行の新CMのテーマは

「地方創生」~「滋賀の宝に光を」篇~

当行のブランド戦略の1つは「ネットワークのしがぎん」。
新CMでは、当行のネットワークとクラウドファン
ディングなどの金融手法を活用し、滋賀県が生んだ大切
なブランドを“伝え、守る”、当行の地域密着型金融の取
り組みを紹介しています。7月からびわ湖放送、支店の
ロビー、当行HPでオンエアします。ぜひご覧ください。

<http://www.shigagin.com/csr/cm/index.html>



♪
滋賀の生んだ大切な
ブランドを伝え、守る
ために。



八幡靴の伝統技術



琵琶パール養殖



伝統ガラス工芸

♪
しがぎんは地域密着型金融として、クラウド
ファンディングなどの手法でサポートしてい
ます。

す
ご
い
ぎ
れ
い!

支
援
し
て
み
る
か!

ね
え、
琵
琶
パ
ー
ル
っ
て
知
っ
て
る
?



♪
My Happy
しがぎん

クラウドファンディングの詳細はP.8をご覧ください。

地域や一人ひとりのお客さまに「もっと寄り添うしがぎん」を目指して



あなたの定期預金が未来のアスリートの力に!

◎ 新商品 スポーツ応援定期「未来リーと」

滋賀県ゆかりの未来のアスリートを応援する新商品『しがぎん』スポーツ応援定期「未来リーと」の取り扱いを平成26年12月より開始しました。お客さまにお預け入れていただいた定期預金残高の0.005%相当額をアマチュアスポーツの支援を行っている「レイクス・スポーツファンド」へ寄付するもので、滋賀県内のスポーツ振興を応援するとともに、地域スポーツ振興による地域活性化の後押しを行っています。



お客さま



滋賀銀行



レイクス・スポーツファンド
(公益財団法人 滋賀レイクスターズ)



助成・支援・所属・情報誌発行/社会貢献活動

資産運用は「パーソナル」、住宅ローンは「しがぎんプラザ」

◎ 守山パーソナルがOPEN

ご相談体制を充実させる取り組みの一環として、休日も営業する総合的な資産運用のご相談窓口「パーソナル」と住宅ローンのご相談窓口「しがぎんプラザ」を県内に設置し、お客さまのライフサイクルにあわせた相談にお応えしています。平成27年4月には、守山支店2階に守山パーソナルを新たに開設しました。今後も個人のお客さまの幅広いニーズにより一層お応えできる支店づくりを目指します。



セミナールームも完備



相談ブースでゆっくりご相談いただけます

子育て中のパパやママを応援

◎ 子育てサポート住宅ローン

育児休業取得中の返済負担の軽減をサポートする「子育てサポート住宅ローン」の取り扱いを平成27年2月より開始しました。住宅ローンをご利用のお客さまが育児休業を取得される場合、元金返済の据置と元金返済据置期間分の最終期日の延長が可能となります。

◎ 住宅ローンの団体信用生命保険を充実

「地銀協3大疾病保障特約付団体信用生命保険」および「地銀協ライフサポート団体信用生命保険制度」の取り扱いを平成27年1月から開始しました。これにより当行の団体信用生命保険の商品は、死亡・高度障害保障に加え、「入院保障」、「がん保障」、「3大疾病保障」、「8大疾病保障」、「すべての病気(精神疾患を除く)やケガの保障」など全7プランとなります。



ご来店不要でもっと便利に

◎ Sカードローンのスマートフォン契約を開始

平成27年4月より『しがぎん』Sカードローン(サットキャッシュ)のスマートフォン契約を近畿の地方銀行で初めて開始しました。ご来店いただかなくてもお手持ちのスマートフォンで契約手続きが完了するサービスで、利便性が飛躍的に向上します。



地域経済・産業の活性化に積極的に取り組んでいます

環境ビジネス取組企業の販路開拓をサポート!

◎ 「エコビジネスマッチングフェア2015」が盛況

環境に特化した商談会「エコビジネスマッチングフェア2015」を平成27年6月3日に開催しました。新エネ、リサイクル、環境ソリューション等の8分野で89社・団体が出展。1,725名の来場、702件の商談が行われ大盛況でした。8回目となる今回は「ヘルスケア」分野を新設するとともに、昨年に引き続き、「滋賀健康創生特区」ブースを設置。また、金融サポートコーナーでは「クラウドファンディング」の取り組み事例を紹介しました。



◎ ニュービジネス育成

「新たな成長を実現するニュービジネス(新規事業)」の育成を目指し、「サタデー起業塾」によるビジネスヒントの提供や、ニュービジネス支援ネットワーク「野の花応援団」による産学官連携サポート、多様な資金ニーズにお応えする「しがぎんニュービジネスサポート資金」や「しがぎん成長戦略ファンド」による投融資等に取り組んでいます。

ビジネスフォーラム「サタデー起業塾」

ヘルスケア・バイオ、地域資源、新素材・エネルギー等のテーマに沿って、各分野で活躍されている経営者の講演、専門家による各分野の最新動向の紹介などを通じて、創業・第二創業をサポートしています。



しがぎん野の花賞

野の花賞では、産学官連携でニュービジネスに取り組み、成果を上げられた「サタデー起業塾」の受講生を表彰。平成26年度は5企業に総額50万円を贈呈。平成15年創設以来、これまで83先へ累計830万円を贈呈しています。



全国初!

「ふるさと名物」を応援

◎ 「しがぎんふるさと投資ファンド」

平成27年2月、クラウドファンディングの手法により組成された個別ファンドを主たる投資対象とする「しがぎんふるさと投資ファンド」を設立しました。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく全国初のふるさと投資ファンドで、「ふるさと名物」の開発、販路拡大、地域ブランド化のサポートを行っています。

大注目のクラウドファンディング

当行は平成23年5月に全国の金融機関で初めて、ミュージックセキュリティーズ株式会社と提携し、これまでに9件の小口ファンドを組成(平成27年3月末)。事業者によるクラウドファンディングの手法を通じたファン拡大を応援しています。



八幡靴(近江八幡市)

有機野菜の酵素エキス(大津市)

ふるさとたまご村京たまご(京都府綾部市)

地方創生に貢献

◎ 「地方版総合戦略」の策定に協力

地域金融機関として、各自治体の「地方版総合戦略」の策定ならびに円滑な施策の実施等について、積極的に参画。情報提供・分析・提案等の協力を行ない、人口減少社会を見据えた地方創生に貢献しています。

地方創生に関する当行の方針

- ①県や市町が策定する地方版総合戦略の策定について、積極的に参画し、当行が持つ知見などに基づく情報提供・分析・提案等の協力を行う。
- ②国の総合戦略や地方版総合戦略の策定にあたって、産官学金労の連携の下、積極的に取り組みするとともに、各個別施策について、当行が持つ知見等を活かした機能を積極的に発揮する。
- ③地域資源を活用した事業化、生産性の向上、再出発に向けた環境整備等の課題について、官民ファンドなどの連携を通じて、地域における金融機能の高度化を図っていく。



新たな市場開拓も強力に サポートいたします

海外ビジネス支援体制を強化!

◎ カンボジア カナディア銀行と業務提携

海外進出先の投資環境情報の提供や現地の金融取引のサポートなど、お取引先の海外ビジネス支援体制を強化するため、海外金融機関等との業務提携を拡大しています。平成26年12月には「タイプラス1」の国として注目されるカンボジアのカナディア銀行(本店・プノンペン)と業務提携を締結しました。



【海外の業務提携先・協力銀行】

銀行名	提携・協力時期
①カナディア銀行(カンボジア)	平成26年12月
②ベトナム銀行(ベトナム)	平成25年12月
③香港貿易発展局(香港)	平成25年9月
④メトロポリタン銀行(フィリピン)	平成25年7月
⑤タイ国投資委員会(タイ)	平成25年6月
⑥インドステイト銀行(インド)	平成25年2月
⑦バンクネガラインドネシア(インドネシア)	平成24年9月
⑧バンコック銀行(タイ)	平成20年11月
⑨カシコン銀行(タイ)	平成20年11月
⑩中国銀行(中国)	平成15年6月
⑪中国工商銀行(中国)	平成14年11月

国際協力銀行 総裁が講演

◎ 「しがぎん」アジアセミナーが盛況

国際協力銀行(JBIC、本店・東京都)と平成26年8月11日、業務協力協定を締結しました。また、平成27年1月16日に開催した「第40回しがぎんアジアセミナー」では、渡辺博史総裁に「最近の世界経済動向とJBICの取り組み」についてご講演いただき、大盛況でした。

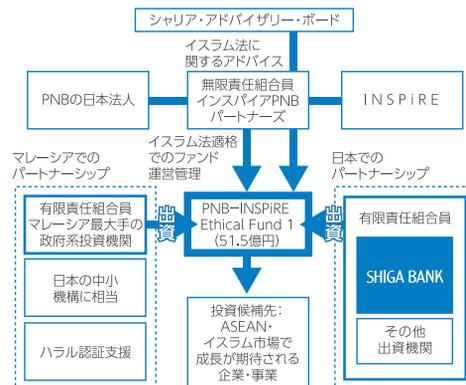


世界約16億人の市場を取り込み!

◎ ハラル市場への取り組み

平成27年5月に一般社団法人ハラル・ジャパン協会と業務提携しました。近畿の地方銀行初の取り組みです。また、ハラルビジネスを通じた企業育成を目的とする「PNB-INSPIRE Ethical FUND 1 投資事業有限責任組合」に参画。イスラム市場の投資環境情報の提供やハラル認証(※)取得のサポートなどを行なっていきます。

近畿の地方銀行で初!!



※ハラル認証とは
イスラム教が摂取を禁じているアルコールや豚肉等を使用しないなど戒律を守って製造・加工・保管・運搬したことを証明するもの。

環境にもっとやさしい銀行を目指します



ついにプレオープン!!

◎ カーボンニュートラル店舗 栗東支店

栗東支店は、最先端の省エネ設備を最大限活用し、CO₂排出量が実質ゼロとなる「カーボンニュートラル店舗」として、平成27年3月16日プレオープンしました。従来型店舗に比べて34%(約30トン/年間)のCO₂排出量を省エネ技術で削減。残りの66%のCO₂排出量(約60トン/年間)に相当する分を、太陽光発電でまかないカーボンニュートラル(実質的にCO₂排出量ゼロ)を実現します。



西日本の
地方銀行で
初!!

学校に図書やスポーツ用品等を寄贈

◎ CSR私募債「つながり」が好評

平成26年11月21日、CSR私募債「つながり」の取り扱いを開始しました。CSR私募債とは、財務内容等の厳しい適格基準を満たし、かつ当行独自の環境格付「PLB格付」にて一定水準の格付を得られた企業さまが発行される債券です。また、本私募債発行記念として、発行金額の0.2%相当額を当行が拠出し、図書やスポーツ用品など「子供たちの学びや成長を応援する物品」を国公立学校へ寄贈。地域社会と子供たちとの「つながり」を応援しています。平成27年3月末までに31社の企業さまが本私募債を発行され、当行より7つの小学校等に195万円相当の寄贈品贈呈を行っています。



しがぎんのCSRの取り組みが評価

第1回「買うエコ大賞」優秀賞

琵琶湖の環境と生態系保全を目的に、お取引先の温室効果ガス削減を促進する「カーボンニュートラルローン 未来よし」が、環境に配慮した滋賀県産の商品・サービスとして、優秀賞を受賞しました。

表彰式:平成27年2月16日
主 催:一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク

第18回「環境コミュニケーション大賞」 環境報告書部門 優良賞

「CSRレポート2014 地域と共に描く未来。」が第18回「環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門で優良賞を受賞。2年連続受賞の快挙です。

表彰式:平成27年2月25日
主 催:環境省、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム



「低炭素な『まちと建物』コンテスト」優秀賞

カーボンニュートラル店舗である栗東支店が低炭素社会づくりに関する優れた取り組みとして高く評価されました。

表彰式:平成27年3月2日
主 催:滋賀県



第3回「グッドプラクティス賞」に選定

環境学習「学校ビオトープ」の活動を応援する「エコプラス定期」が「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」の預金・貸出・リース部門において選定されました。

表彰式:平成27年3月11日
主 催:環境省「21世紀金融行動原則」

「『誠実な企業』賞2015 -Integrity Award-」優秀賞

当行の①環境を主軸とした「日本の金融機関初」の先進的な取り組み②地域活性化に取り組む地場産業育成銀行のモデル③行是の精神を原点とした全ての活動が高く評価されました。

表彰式:平成27年3月20日
主 催:「誠実な企業」賞・Integrity Award・審議会



預金等、貸出金は順調に推移しています

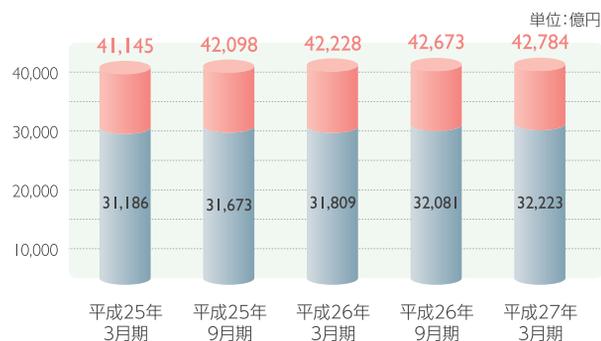
個人・法人ともに順調に増加

預金等

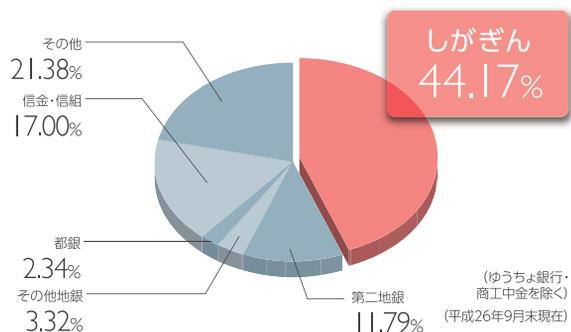
当期も地域の皆さまからのご支持を受けて、期中平均残高は前期比555億円増加し、4兆2,784億円と順調に推移しています。コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆2,223億円で同414億円の増加となりました。

預金等(譲渡性預金含む) 期中平均残高

全体
うち個人預金



預金残高「滋賀県内シェア」



事業性・消費者向け・地方公共団体向け貸出ともに増加

貸出金

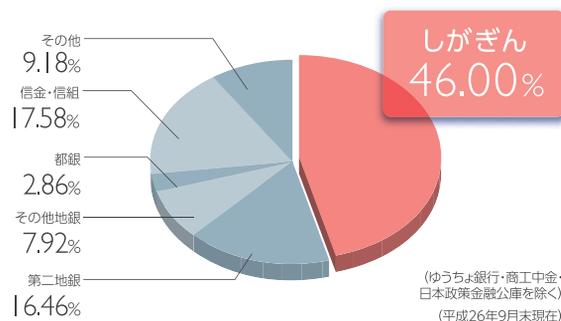
当期は、事業性貸出・消費者向け貸出・地方公共団体向け貸出ともに増加し、期中平均残高は2兆9,500億円となりました。前期比1,017億円、3.57%の増加となりました。

貸出金 期中平均残高

全体
うち消費者向け貸出金



貸出金残高「滋賀県内シェア」



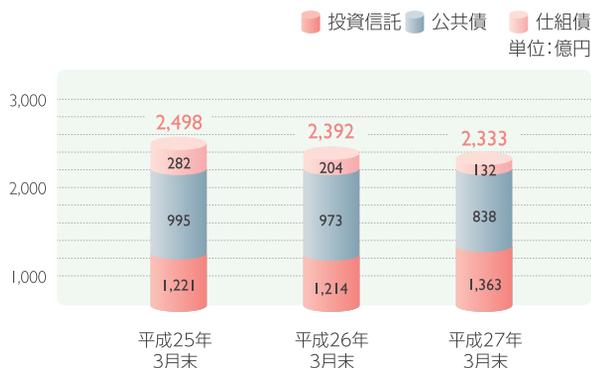
資産の運用も お任せください

多様な資産運用ニーズを親身にサポート

預り資産 残高

投資信託、公共債等の預り資産残高（取扱保険料累計額含まず）は2,333億円で、前期末比58億円の減少、うち個人の預り資産残高は2,222億円で、前期末比19億円の減少となりました。期中販売額は投資信託が67億円増加の562億円、保険が98億円増加の447億円となりました。

預り資産残高 合計



投資信託・保険期中販売額



格付は安心の 「Aクラス」を確保

2つの格付機関が「A+」と高い評価

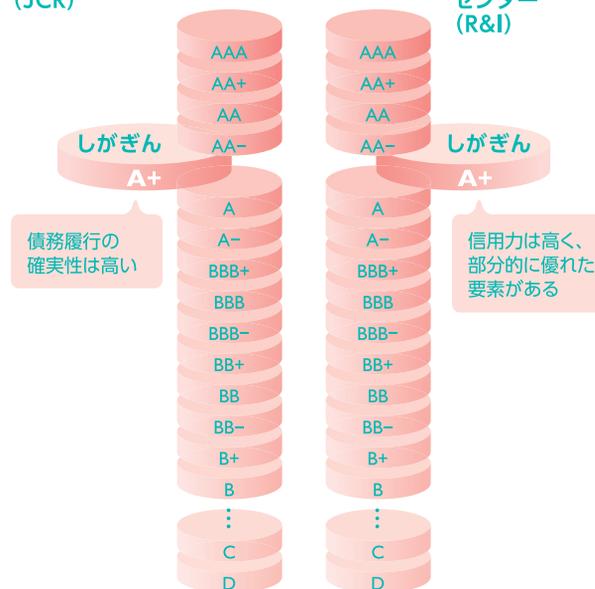
格付

「大切なお金は、安心できる銀行に預けたい」。格付はお客さまに安心して銀行をお選びいただくひとつの目安となる外部評価です。

当行は、2つの格付機関からともに「A+」を取得し、信用度について高い評価をいただいています。

日本格付研究所 (JCR)

格付投資情報センター (R&I)



用語説明

格付

銀行預金の元利金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表したものです。銀行を判断するうえで、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。

これからも「安全」「健全」な経営に努めます

自己資本比率も国際統一基準を大きくクリア

自己資本比率 (連結)

自己資本比率は、銀行の安全性、健全性を図る指標のひとつです。当行のように海外に営業拠点を持つ銀行は、国際統一基準を満たしていなければなりません。当行の自己資本比率は15.94%（バーゼルⅢ基準、平成27年3月末、連結ベース）と国際統一基準を大きくクリアしています。

平成27年3月末

	実績	最低所要比率
連結 総自己資本比率	15.94%	8.0%以上
同 Tier1比率	11.82%	6.0%以上
同 普通株式等Tier1比率	11.82%	4.5%以上

※平成25年3月末より、バーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しております。

(ご参考:自己資本比率推移)



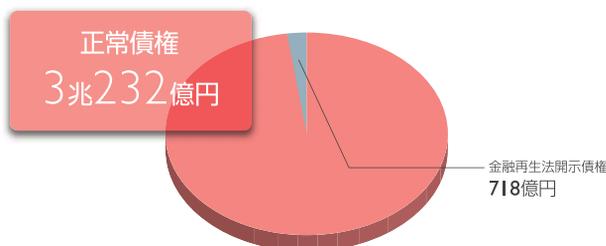
用語説明

自己資本比率

銀行の安全性、健全性を判断する基準のひとつに、自己資本比率があります。海外に支店を有する国際統一基準行では新たな自己資本比率規制（バーゼルⅢ）が平成25年3月期決算から段階的に導入され、各最低所要比率を満たす必要があります。

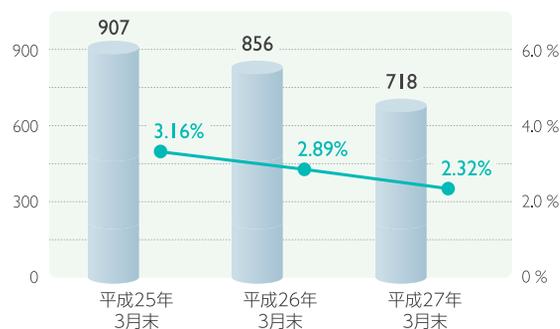
不良債権の状況

当行の金融再生法に基づく開示債権の合計は前期末比137億円減少し718億円、総与信に占める比率は2.32%で前期末比0.57%の低下となりました。また、貸倒引当金や担保などによる保全率は73.98%で前期末比2.01%の上昇となりました。



金融再生法開示債権

◆ 対総与信
残高比率
単位:億円



用語説明

不良債権比率

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合です。不良債権比率が低いほど、資産の質は高くなります。銀行ごとにその資産総額の規模が異なることから、この比率が銀行の健全性をみる指標のひとつになります。

お知らせします、しがぎんの業績

業績ハイライト

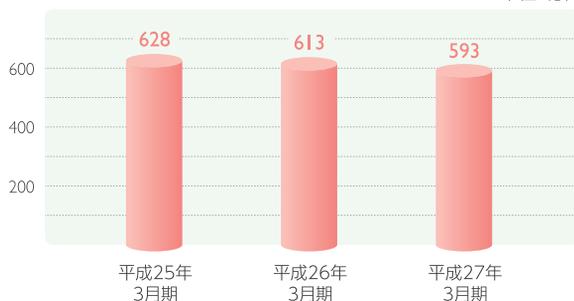
- 貸出金利回りの低下を主因として資金利益は前期比4億円減少しました。役員取引等は6億円増加しましたが、債券関係損益の減少を主因としてその業務利益が21億円減少したため、業務粗利益は19億円の減益となりました。

- 与信コストが△41億円と前期比72億円減少したことから、経常利益は222億円で47億円の増益、当期純利益は125億円で23億円の増益となり、いずれも過去最高益となりました。

業務粗利益

銀行本来の業務（貸出業務、為替業務、有価証券運用など）から得た利益です。

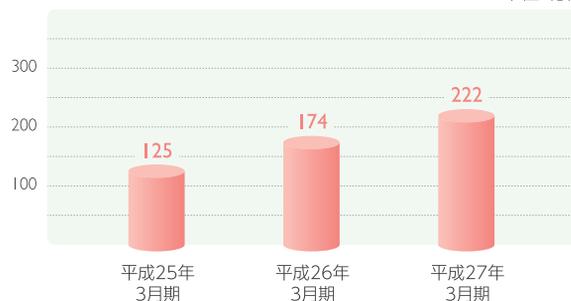
単位：億円



経常利益

業務純益から株式の売却損益や不良債権処理に関わる費用などをプラス・マイナスした利益です。

単位：億円



業務純益

一般企業でいう営業利益にあたります。
業務純益=業務粗利益-経費(人件費、物件費など)-一般貸倒引当金繰入額

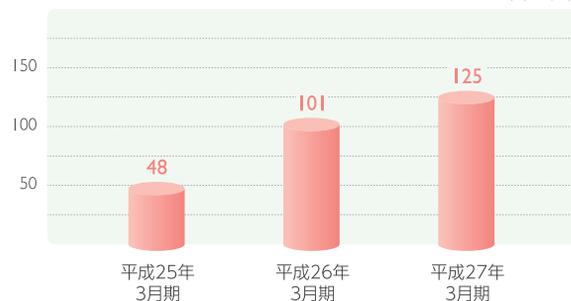
単位：億円



当期純利益

経常利益から法人税や事業税等を差し引いた最終的な当期の利益です。

単位：億円



お客さま・地域とともに 未来へ歩む

当行はこれからの10年を展望したあるべき姿を『お客さま・地域とともに未来へ歩む銀行』とし、その第一ステージとして平成25年4月に第5次長期経営計画をスタートさせました。お客さまと地域の持続可能な成長のために、当行独自の「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」(「ネットワークのしがぎん」「アジアに強いしがぎん」「CSRのしがぎん」)の実践に具体的な数値目標を掲げて取り組み、地域社会との更なる共生共栄の実現を目指してまいります。

地域密着型金融の推進の目標および実績 (平成25年4月～平成27年3月)

取組項目	平成28年 3月末目標	平成27年 3月末実績	平成27年 3月末 進捗率 (%)
第5次長期経営計画の挑戦指標			
ROE(連結)	3.0%以上	4.32%	
OHR(単体)	70%未満	72.36%	
普通株式等Tier1比率(連結)※1	10.0%以上	11.82%	
温室効果ガス排出量削減※2	20%削減	29.64%削減	
「3つのブランド戦略～知恵と親切の提供～」に関する取り組み			
1. 「ネットワークのしがぎん」に関する取り組み			
ビジネスマッチング商談件数★	3,000件	2,663件	88.7%
ニュービジネスサポート:コーディネーター活動件数	150件	174件	116.0%
事業性融資先お取引先数	18,000先	18,691先	103.8%
格付コミュニケーション・サービス実施先数(累計)★	3,200先	2,953先	92.2%
経営改善計画策定支援先数(累計)※3	3,000先	3,096先	103.2%
2. 「アジアに強いしがぎん」に関する取り組み			
海外ビジネスサポート件数※4★	4,300件	4,215件	98.0%
海外商談会、セミナー、ミッションの実施回数	30回	33回	110.0%
3. 「CSRのしがぎん」に関する取り組み			
PLB資金、エコ・クリーン資金実行件数※5	600件	431件	71.8%
エコプラス定期取扱件数、 ネット投票電子交付サービス契約件数(合計)	500,000件	299,511件	59.9%
ボランティア活動参加延べ人数★	7,500名	5,354名	71.3%

★印は第5次長期経営計画の地域貢献目標として掲げている項目です。
 ※1 普通株式等Tier1比率(連結)…パーゼルⅢベースの数値を記載しております。
 ※2 温室効果ガス排出量削減…2013年度から2015年度の3年間平均で2006年度比較20%削減。
 ※3 経営改善計画には、当行所定の「ご相談シート」による簡易な計画も含まれます。
 ※4 国際部アジアデスクおよび当行の海外拠点(香港支店、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所)によるサポート。
 ※5 PLB資金…「しがぎん」琵琶湖原則(Principles for Lake Biwa)支援資金。

しがぎん トピックス TOPICS ③



■ インターネットバンキングの リニューアルで、ますます便利に!

PC画面

スマホ画面

「しがぎん」
ダイレクトの
利用申込ネット
受付開始

即時振替
24時間対応

先日付振込・
振替予約

スマートフォン
専用画面の新設

平成27年4月、お客さまの利便性向上およびセキュリティ強化のため、インターネットバンキング(『しがぎん』ダイレクト)をリニューアルしました。外出先でも便利にご利用いただけるよう「スマートフォン専用画面」を新設し、「合言葉認証」の導入などセキュリティ機能も強化。また、先日付振込などの新機能の追加や利用頻度の高いメニューをトップ画面に配置するなど、より便利になりました。

不正送金被害への対策として新たに導入したセキュリティ対策

Secure Starterの提供 (スマートフォン専用アプリ)	ご利用端末のセキュリティチェックを自動で実施し、安全性を確認した上で、インターネットバンキングをご利用いただけるセキュリティ対策アプリ
ワンタイムパスワード (ソフトトークン)	お振り込み等のお取引引きをされる際に、確認用暗証番号に代え、「Secure Starter」を利用した「ワンタイムパスワード」による本人認証を行うセキュリティ対策
合言葉認証	ログインや振り込みなどの取引時に、合言葉による本人認証を追加して行うことにより「なりすまし」を防止するセキュリティ対策